

研究成果情報	園芸	43	果樹	栽培
新技術・情報名	いちじく無加温ハウスの天井ビニルの除去時期		分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

いちじくの無加温ハウスにおける天井ビニルの最適な除去時期は梅雨明けの7月中旬である。

- (1) 5月下旬の早い時期の天井ビニル除去は、熟期が遅れる。
- (2) 7月中旬除去は、6月中旬除去より熟期の促進効果は大きく、果実の品質差は小さい。
- (3) 10月中旬まで天井ビニルを雨避けとして残すと、8月までの収穫量は多くなるが、果実の肥大は劣り、収量及び果実の着色が低下する。また、雨よけによる腐敗果の発生防止効果は低い。

2) 技術・情報の適用効果

いちじくの無加温ハウス栽培（「榊井ドーフィン」の一文字整枝）では、天井ビニルを適期に除去することにより高品質の果実を早期に出荷できる。

3) 適用範囲

県内のいちじく「榊井ドーフィン」一文字整枝の無加温ハウス産地。

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

天井ビニルの被覆期間中は最高温度が30℃以上にならないよう換気に十分注意する。

2. 具体的データ

表1 天井ビニル除去時期と果実の熟期及び品質 (平成元年)

天井ビニル除去時期	9月までの収穫節数	9月で収穫終了枝率	8月上旬			9月下旬		
			着色*	チャート**	糖度	着色	チャート	糖度
	節	%	%		%	%		%
5月下旬	15	0	60	3.8	13.1	65	4.5	14.5
6月中旬	17	30	55	3.0	13.4	60	4.3	14.3
7月中旬	17	35	45	3.0	12.4	63	4.5	13.4

注) ①*: 果皮面の着色割合、②**: チャートG1～R5 (8段階)

表2 雨避けの有無と収量及び果実品質 (平成2年～3年)

天井ビニル除去時期	収穫果率			1樹当たり収量	平均1果重	着色		糖度	腐敗果発生率
	8月	9月	10月			割合	チャート		
	%	%	%	kg	g	%		%	%
7月中旬	22	41	37	17.0	90	90	4.6	13.7	21.0
10月下旬	37	38	25	16.8	88	88	3.4	14.1	17.5
露地	10	41	49	14.6	79	88	4.6	15.7	8.0

3. その他特記事項

担当部科室名: 豊前分場 果樹研究室

研究担当者名: 粟村光男・正田耕二

研究課題名: いちじくのハウス栽培技術

期間: 平成元年～平成3年

予算区分: 経常

既発表論文・資料名等: 平成元～3年度 豊前分場 果樹試験成績書

取りまとめ責任者名: 正田耕二